

2026
2

教区だより

真宗大谷派京都教区 教化広報誌

第8回連載

「女性教化」の近・現代史を紐解く

—真宗大谷派の場合—

大谷大学文学部歴史学科教授 福島 栄寿 氏

特集

「是旃陀羅」問題教区学習会について

近江第2組 谷 大輔 氏

今、この時に、親鸞聖人に遇う

近江第1組
宗徳寺
東北教区
浜組 西願寺

城 利枝 氏
吉田 光信 氏

「女性教化」の近・現代史を紐解く —真宗大谷派の場合—

大谷大学文学部歴史学科教授

福島 栄寿

苦い思い出（その二）

第8回

高校生の頃の私

前回述べたように、同級生の「お前、あの時、正直に答えへんかったやろ」との言葉に、ドキリとさせられた私は、その一言をきっかけに、中学時代の自分を省みるようになりました。そして、過去の自分の言動を思い出しては、あら探しをするようになりました。中学校の同級生と町ですれ違うことも避けようになりました。

一方で、清沢満之の「請うなけれ。求むるなけれ、なんじ何の不足がある」（「絶対他力の大道」）との、自身のあり方に不満を抱くのを止める言葉を読むたびに悩みは深まるばかりでした。そんな自分の内面を正直に見つめることなど出来ず、ただ勉強に逃げるだけの高校生活を送りました。

実は、教え子たちが楽しそうに自宅へ遊びに来ていたこともあり、私は、父が教員をしていた大谷高校に進学しました。しかし、自宅でも高校でも親子で過ごすという環境は、想像以上に大変なことでした。高校に宗教の授業はありましたが、学年が上がるにつれ、自分と向き合うことを促すその時間は、苦痛へと変りました。

心の習慣の苦しみ

男子高校生が抱くような人並みの悩みもありました。「絶対他力の大道」の難解な文章も、部分的には理解が出来るようになりましたし、自分なりの理解をするようになりました。しかし、「如来」の意味などはわかりません。

この自分なりの理解とは、危険なものです。「請うなけれ、求むるなけれ、なんじ何の不足がある」の言葉は、私に語り掛けてくる言葉として感じられ、悩みは誰にも相談することなく、押し殺していたことを覚えています。このような心の習慣は、今思い返すと、高校生にとっては、相當にしんどいことであつたと思いました。

ます。こんな私でしたので、高校を卒業する頃には、「とにかく、誰も自分のことを知らない遠い所で、一から生き直したい」という思いを強く抱くようになつてしました。

フヒストリーに向き合うようになりました。
中学生の私は、なぜ、そう言ったのか。

少々思い出話が長くなりました。振り返れば、中学生のグラウンドで、あの一言を口にしていなければ、私は、もう少し楽しい高校生活を送れたのではないかと、いまさらながら、強く思うのです。さらに言えば、進路選択も、その後の自己形成のあり方も違っていたかもしれません。

では、何故、私は、「顔に当つて傷がついたら大変やつた。女の子は将来……」の一言を口にしたのか。大谷派の「女性教化」の歴史について学ぶなかで、私は、そこに自分のライフヒストリーが関係しているのではないかと思うようになりました。



執筆者が通った大学の最寄り駅



特集 教化本部 企画室

「是旃陀羅」問題教区学習会について

部落差別問題に学ぶ同朋協議会会长 近江第2組 良覺寺 谷 大輔



『御同朋を生きる』という書籍をご存知でしょうか？二〇二四年一月に発行され三月に全寺院に発送されていますから各寺に必ずあるはずです。この書籍の副題は「是旃陀羅問題学習テキスト」です。

長年にわたって「是旃陀羅」を日本の部落差別と結びつけた教学的に誤った解釈がなされ、そして差別を助長するような教化活動を行ってきました。また読経や和讃といった儀式においても、この言葉に正面から向き合うことはありませんでした。

『仏説觀無量寿經』序分において説かれる「王舍城の悲劇」の中で、母親を殺そうとする阿闍世を月光大臣が諫めにあたり、「是旃陀羅」という言葉を使います。「旃陀羅」は古代インドから

編集 是旃陀羅問題学習資料
編集委員会
発行 真宗大谷派宗務所

御同朋を生きる

是旃陀羅問題学習テキスト
真宗大谷派（東本願寺）

はじめのカースト制度の外に置かれた被差別階級である「チャンダーラ」の音写です。

長年にわたって「是旃陀羅」を日本の部落差別と結びつけた教学的に誤った解釈がなされ、そして差別を助長するような教化活動を行ってきました。また読経や和讃といった儀式においても、この言葉に正面から向き合うことはありませんでした。

『仏説觀無量寿經』序分において説かれる「王舍城の悲劇」の中で、母親を殺そうとする阿闍世を月光大臣が諫めにあたり、「是旃陀羅」という言葉を使います。「旃陀羅」は古代インドから

水平社創立の頃より幾度となく被差別部落の方々から「是旃陀羅」を問題視する声が上がっていました。そして、二〇一二年に部落解放同盟広島県連合から「是旃陀羅」という言葉について、「被差別者の声を聞いてほしい」という問題提起がなされました。大谷派は「部落差別問題等に関する教学委員会」を発足させ、広島県連との対話を繰り返しつつ、教団の歴史の中で「是旃陀羅」という言葉がどのように解釈され使われ

『御同朋を生きる』を京都教区においてテキスト『御同朋を生きる』を学ぶ「是旃陀羅」問題教区学習会を開催します（主催企画室）。日時は四月二十一日（火）十三時受付、十三時半開会。講師はテキストの編纂に関わられた前教学研究所長の宮下晴輝先生です。教区同朋会議として教区会議員、教区門徒会員、教化委員会委員、部落差別問題に学ぶ同朋協議会委員に参加をしていただきますが、教区人ならばどなたでも参加していただけます。

『御同朋を生きる』に書かれていることは結論ではなく問題提起です。ここに書かれたことを理解し、覚え、その結論を金科玉条の如く振りかざし、思考を止めてしまうためにあるテキストではないのです。

テキスト『御同朋を生きる』を学ぶ

ことを出発点として、「是旃陀羅問題」を学んだ一人一人が、この問題から提起

てきたか等を詳細に調べ、かつ「是旃陀羅」という言葉を『觀經』の中でどのように読むべきなのかについて、一定の見解を出しました。そして、この問題を教団全体の問題として受けとめるべく学習テキストを作成しました。それが『御同朋を生きる』です。

『御同朋を生きる』を京都教区においてテキスト『御同朋を生きる』を学ぶ「是旃陀羅」問題教区学習会を開催します（主催企画室）。日時は四月二十一日（火）十三時受付、十三時半開会。講師はテキストの編纂に

関わられた前教学研究所長の宮下晴輝先生です。教区同朋会議として教区会議員、教区門徒会員、教化委員会委員、部落差別問題に学ぶ同朋協議会委員に

参加をしていただきますが、教区人ならばどなたでも参加していただけます。

『御同朋を生きる』に書かれていることは結論ではなく問題提起です。ここに書かれたことを理解し、覚え、その結論を金科玉条の如く振りかざし、思考を止めてしまうためにあるテキストではないのです。

テキスト『御同朋を生きる』を学ぶ

ことを出発点として、「是旃陀羅問題」を学んだ一人一人が、この問題から提起

されたことを自分自身の課題として受けとめ、学びを深めるのです。「是旃陀羅問題」をきっかけにして改めて部落差別問題を学びはじめてもよいでしょうし、教学、教化、儀式などにある差別性を問い合わせ直してもよいでしょう。

『御同朋を生きる』を京都教区においてテキスト『御同朋を生きる』を学ぶ「是旃陀羅」問題教区学習会を開催します（主催企画室）。日時は四月二十一日（火）十三時受付、十三時半開会。講師はテキストの編纂に

関わられた前教学研究所長の宮下晴輝先生です。教区同朋会議として教区会議員、教区門徒会員、教化委員会委員、部落差別問題に学ぶ同朋協議会委員に

参加をしていただきますが、教区人ならばどなたでも参加していただけます。

『御同朋を生きる』に書かれていることは結論ではなく問題提起です。ここに書かれたことを理解し、覚え、その結論を金科玉条の如く振りかざし、思考を止めてしまうためにあるテキストではないのです。

テキスト『御同朋を生きる』を学ぶ

ことを出発点として、「是旃陀羅問題」を学んだ一人一人が、この問題から提起

今、この時に、

親鸞聖人に遇う



ご縁に感謝

近江第1組
宗徳寺
城利枝



聞する機会をいただきながら、なかなか真宗の教えをいただくまでに至らず、こんな私が坊守なんて相応しくないのでないかという思いをずっと持っていました。

そんな中、組坊守会長のお役をいただき、教区坊守会へ出て行くようになりました。それまで、教区の研修会に参加したこともなく、果たしてこのようなお役が務まるのか、当初は不安でいっぱいでしたが、役員の方々は、本当に心配りの素晴らしい坊守さんばかりで、見習いたいなどいつも良い刺激を受けながら、みなさまに助けていただきながら何とか二年目を迎えることができた。仕事を重ねる毎に役員同士の結束も強まり、今は坊守会へ行くのがとても楽しくなっています。

私事になりますが、私は、サラリー・マン家庭に育ち、幼少の頃から転勤族で、お寺へ嫁ぐまで全くお寺にも真宗にもご縁がありませんでした。結婚前に赤本とCDを渡され、『正信偈』だけ覚えて嫁ぎました。夫が既に住職でしたので、見習う間もなくいきなり坊守です。これは「お寺だから?」「大津の文化?」それとも「城家の常識?」と、これまでになかつた概念に戸惑い、毎日がカルチャーショックでした。ぼちぼちとお聴

なく、真摯にお念仏と向き合う貴重な時間をいただきました。みなさんと寝食を共にし、共同作業をする中でご縁も深まり、密度の濃い体験でした。御影堂で、親鸞聖人の御前にてお剃刀をあてていただいたとき、「ああ、漸く正式に門徒の仲間入りをしたんだな」と、安堵の気持ちと気が引き締まる思いがいたしました。

いつも自坊にお参りに来られる、お念佛が身に染みついたおばあちゃんがいます。これまでの私には、お念佛とはどういうものであるかが分からず、ことある毎にお念佛をありがたそうに称えるそのおばあちゃんを、どうやつたらそんな風になれるのだろうと羨ましく思つていました。

私はといえば、何か困りごとが起つたときに「阿弥陀さん(泣)(涙)」とすがり、自分に都合の良いときだけ「阿弥陀さんありがとう」と手を合わせるくらいで、それ以外は形だけでした。

そしてまた、新たな問い合わせ。果たして、気持ちのこもった南無阿弥陀仏と、形だけの南無阿弥陀仏、違うのでしょうか……?

ている気がします。



京都教区坊守一泊研修会(講師:東館紹見師)

講座が開かれ、スタッフ兼受講者として参加しました。前期教習のご講師の講義や座談では、毎回自身を見つめ直す機会をいただき、後期教習では、上げ膳据え膳で日常の実務に追われること

なく、真摯にお念仏と向き合う貴重な時間をいただきました。みなさんと寝食を共にし、共同作業をする中でご縁も深まり、密度の濃い体験でした。御影堂で、親鸞聖人の御前にてお剃刀をあてていただいたとき、「ああ、漸く正式に門徒の仲間入りをしたんだな」と、安堵の気持ちと気が引き締まる思いがいたしました。

いつも自坊にお参りに来られる、お念佛が身に染みついたおばあちゃんがいます。これまでの私には、お念佛とはどういうものであるかが分からず、ことある毎にお念佛をありがたそうに称えるそのおばあちゃんを、どうやつたらそんな風になれるのだろうと羨ましく思つていました。

でも、このような様々なご縁を通じて、これまで当たり前だと思っていたことが、実は当たり前ではなかつたのだと、少しずつ気付かせていただけるようになり、最近では、自然と感謝の気持ちで「南無阿弥陀仏」と手を合わせるようになつてきました。

今、この時に、

親鸞聖人に遇う



震災から学ばせられる

東北教区 浜組 西願寺
吉田 光信



2018年8月に京都教務所の書記

として着任し、はや7年が経ちました。
7年もいますが未だにお会い出来ていな
いお寺様も多く、教区改編も相まって
教区の広さを改めて実感しています。

私もお寺の出身です。自坊は、福島
県双葉郡富岡町にある西願寺というと
ころで、のんびりとした田舎にあるお寺
です。

お恥ずかしい話、お寺の行事ごとには
率先して参加したことはなく、両親に

言われながら嫌々参加していた記憶し
かありません。

2011年3月1日に高校を卒業し
て、春から京都の大谷大学に進学する
タイミングで3月11日の東日本大震災を
体験しました。

自坊は、地震や津波の被害は特にあ
りませんでしたが、福島第一原子力発電
所から近い距離にあり、放射能の問題か
ら避難を余儀なくされました。震災か
ら3週間足らずで先の見通しが立たな
い中、後ろ髪を引かれる思いで両親と別
れ京都の大谷大学に進学しました。京都
に着いた時に普通に生活している人々を
見て「ここは同じ日本なのだろうか」と
衝撃を受けたことは今でも忘れません。

新しい環境で大学生
活がスタートはしまし
たが、心のどこかで自
分が今学んでいること
は何の意味があるのだ
ろうかとモヤモヤする
気持ちを抱えながら過
ごしていました。

そのような気持ちを
抱きながら日々の授業
を受けていたある日、親鸞聖人の生涯
を辿る授業で流罪のことに触れた時に
先生が「親鸞聖人にとって流罪はただ念
仏を後悔するきっかけになったのではな
く、ただ念佛と向き合うと同時に越後
での出会いに感謝する逆縁となつたので
す」と話されました。親鸞聖人の教え
から学べることは何もないと思っていた
私にとって初めて親鸞聖人を身近に感じ
ることが出来た瞬間でした。

『歎異抄』の第13章に、
「さるべき業縁のもよおせば、いかな
るふるまいもすべし」
(真宗聖典第二版) 東本願寺出版、七七六頁)
とあります。人間は縁次第でどうなつて
しまうかわからない悲しみを持っていま
す。その縁に自分事として領けるか領
けないかということが大事になつてくる

私にとって震災は、今までの生活を一
変させた理不尽な縁であり、受入れ難い
ものでしたが、震災が「あつたこと」で
ボランティア等を通して多くの方に遭遇
え、また日々の生活の「当たり前」だ
と思っていたことが何一つ当たり前でない
のだと気づかせてくれた縁になつていて
と思えるようになりました。

悲しみから立ち上るのはとても大
変なことです。現実を受け止められな
いのも人間の業なのかもしれません。
それでも私たちはもがきながら生きて
いくしかありません。人それぞれ悲し
みは違いますが、手を合わせ念佛して
「南無阿弥陀仏」と称えているときは
みんな等しく一緒の存在だと思います。



富岡漁港



夜の森桜トンネル(富岡町)



新しい西願寺
ご門徒さんからの願いもあり皆さんが集まる本堂を再建しました

葬儀執行について思うこと

出版部会 近江第26組 德乘寺 比叡谷 真



男と女の平等つて、なに？

先日、近隣寺院の坊守さんが還淨された。私が地元に帰つてから、組の教化委員会や推進員教習の場でご一緒することが多く、何かとお世話になりご指導いただいた。また、お手次のご門徒の葬儀ではいつも鈴役を務めておられ、新型コロナ感染症の影響を受けて以降は機会がなかつたが、かつてはたびたび諷経にお参りして、ともにお勤めさせていただいたことを思い出した。

お預かりするお寺では、所属門徒の葬儀の際、私と連れ合いでも導師・鈴役を務めている。先代の頃はそうしていなかつたので、私たちの取り組みとして独自に始めたことだと思いこんできたが、先輩の歩まれた道をたどつてのことだと今更ながら気づかされた。

私が生まれる前の話だが、祖母が得度して尼講に出仕していると、お参りのご門徒から、女性僧侶が出仕することについて否

定的な言葉が出たと母から聞いたことがある。葬儀の鈴役についても、地域社会のなかで先例がまつたくない状況であれば、私たちの取り組みというのも受け入れられなかつたかもしれない。そういう意味では、先輩が歩まれた道というのは、切りひらいてくださつた道ということでもあるのだと思う。

命終された坊守さんのご母堂である前坊守さんも、かつて葬儀の罄役をしておられたと聞く。以前にも書いたことだが、先輩方の歩みにうながされて、今、私は歩みを賜っている。男女共同参画に取り組むにあたつても、そのことを憶念し続けたい。

※鈴役…葬儀で鳴り物を入れる役
※諷経にお参り…招待僧として参勤すること
※得度…僧侶となるため、門首からお剃刀をいたくこと
※尼講…お寺の女性門徒の集まり

多様性に応えるとは

出版部会 因伯組 萬福寺 藤野顯生



浄土真宗本願寺派では、女性の法名に付く「尼」の字が、1986年に（本山では）廃止されました。それ以降、一般寺院でも「尼」を用いない法名が広く定着しているようです。やや遅れて真宗大谷派でも、2025年より法名のあり方が見直されることになりました。東本願寺のホームページでは、「現代においては『釋○○』『釋尼○○』という法名を大切にされる方がいる一方で、性別違和（性別不合）やLGBTQに代表される多様な性を尊重する法名のあり方が問われている」と示され、従来の男女別の授与を基本としつつ、受式者の願い出によつて選択できる制度へと変更されています。

自坊では現在、従来通り女性の法名に「尼」の字をお付けしていますが、ご門徒にトラ

ンスジエンダーの方がおられます。戸籍上は男性ですが、女性的な生き方をされている方を付ける選択肢もあり得ると思います。とはいっても法名を人に「どうしますか」と率直に尋ねることへのためらいも正直あります。今後、性の多様性に配慮し、本派のように一律に「尼」を外すことも考えなければならぬのかもしれません。一方で、「ややこしいから外してしまえ」と形式だけ統一することが、多様性に応える姿勢として適切なのかと統一するところが、多様性に応える姿勢として適切なのかという疑問も残ります。いずれにせよ、「どうしますか」と気軽な相談ができるような関係や環境を整えていくことが求められているように感じます。

※尼講…お寺の女性門徒の集まり

京都教区 2月の教区事業

4日 (水) 9:30 ~ 15:30 教区坊守会 真宗基礎講座 (Zoom 併用)	しんらん交流館1階 ABC 会議室
17日 (火)・18日 (水) 終日 研修講座部会 伝道研修会	教区会館
25日 (水) 15:00 ~ 18:00 教区准堂衆会 声明会	教区会館 3階 研修室
26日 (木)・27日 (金) 終日 近畿連区坊守会 坊守会研修会	しんらん交流館 2階 大谷ホール
28日 (土)・3/1日 (日) 終日 青少幼年部会 青少幼年教化研修会	教区会館

京都教区 2月の教区諸会議

9日 (月) 13:00 ~ 17:00 教化本部 青少幼年部会 (Zoom 併用)	教区会館 3階 研修室
16日 (月) 13:30 ~ 16:30 教化本部 企画室	教区会館 2階 大講堂
20日 (金) 13:30 ~ 16:30 教化本部 出版部会 編集会議	Web 会議 (Zoom)
24日 (火) 13:30 ~ 15:30 選挙管理会	教区会館 2階 大講堂

教務所からのお知らせ

住職任命者

2025年12月13日

・長浜第20組 光輪寺 足利 伸也
・山城第1組 法順寺 井上 貴文

長浜教務支所の現金取り扱い日について

長浜教務支所の現金取り扱い日は、左記のとおりです。

2月9日 (月) 2月24日 (火)
3月9日 (月) 3月23日 (月)
4月6日 (月) 4月20日 (月)
5月11日 (月) 5月25日 (月)
6月8日 (月) 6月22日 (月)

教務所・教務支所閉所のお知らせ

2026年2月12日 (木) から

2月13日 (金) まで

所員研修のため、教務所・教務支所を閉所いたします。

緊急連絡先..

080-16121-0737

「是施陀羅」問題教区学習の開催について

開催日時 2026年4月21日 (火)
午後1時30分～4時30分

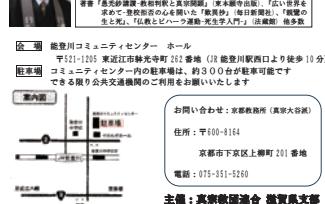
参加方法 ①「是施陀羅」問題教区学習の開催について
②ご自宅等からWEB参加
③ shinran 交流館、または
④サテライト会場に来所して参加

真宗のつどい

2026年2月22日 (日)

日 程

13:30 開会式 (受付12:30～)	真宗大谷派 和歌正信偈、太部真接説、木辺派門主祝辞 仏教讃歌 (本願寺派「響流」、真宗大谷派「花あかり」) 記念講演
14:00 講題: 田代 俊孝 師 講題: 「悲しみからのお教入門~いのちを考える~」 閉会式 事務連絡挨拶、恩師謝辞	記念講演



なお、講演に先立ち合唱団「花あかり」(真宗大谷派)と「響流」(浄土真宗本願寺派)による、仏教讃歌が演奏されます。

俊孝師。

真宗教団連合滋賀県文部主催「真宗のつどい」

2026年2月22日 (日) に、能登川町 262番地 (JR 能登川駅西口より徒歩10分) を会場に開催します。講師は田代

俊孝師。

このたびの地震の影響を受けた北陸の地は、真宗門徒の多い地域であります。とりわけ震源地である能登地方は多くの寺院・ご門徒が甚大な被害を受け、今もなお深い悲しみと不安の日々を過ごされております。真宗大谷派として、今後も全力を傾注して支援策を講じてまいります。

このたびの地震の影響を受けた北陸の地は、真宗門徒の多い地域であります。とりわけ震源地である能登地方は多くの寺院・ご門徒が甚大な被害を受け、今もなお深い悲しみと不安の日々を過ごされております。真宗大谷派として、今後も全力を傾注して支援策を講じてまいります。

依頼「令和六年能登半島地震」災害に対する救援金の勧募について

「過去帳」の閲覧について

寺院の「過去帳」に記載されている内容は、ご門徒の個人情報であり、その漏えいは人権侵害となりますので、「過去帳」の管理及び保管については、くれぐれもご注意ください。

2024年1月1日に発生した能登半島地震に對して、これまで、教区内のみなさまから被災地の支援にご理解をたまわり、救援金をお寄せいただいておりますこと、この場をお借りして御礼を申し上げます。

災害情報公式X(旧ツイッター)

真宗大谷派Webサイト内
令和6年能登半島地震について



京都教区としても、息の長い被災地支援を続けてまいりたいと存じます。なにとぞ趣旨をご覧察たまわり、救援金勧募などの被災地の支援に引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

N S (X) でも発信しています。

京都教区としても、息の長い被災地支援を続けてまいりたいと存じます。なにとぞ趣旨をご覧察たまわり、救援金勧募などの被災地の支援に引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

しんらん交流館1階 ABC 会議室

教区会館

教区会館 3階 研修室

しんらん交流館 2階 大谷ホール

教区会館

教区会館 3階 研修室

教区会館 2階 大講堂

Web 会議 (Zoom)

教区会館 2階 大講堂

教区会館 3階 研修室

教区会館 2階 大講堂

Web 会議 (Zoom)

君看よ双眼の色、語らざれば愁い無きに似たり

一編一集一後記

教区だより 表紙写真大募集!!

本誌表紙写真を大募集いたします！

テーマは宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要テーマ「南無阿弥陀仏と生まれたことの意味をたずねていこう」です。詳しくは京都教務所まで。

お待ちしております！

インフルエンザでしばらく部屋に籠ることになり、退屈のぎに普段読まないような本を読んでみようと、現代宇宙論（勿論初心者向け）の本を開きました。壮大な宇宙の世界に触れてみると、人間がいかにちっぽけな存在なのか、なぜ人は存在しているのか、と哲学的な問いが湧いてきます。しかし現実は直径4mに満たない宇宙（自室）で寝込んでいる身。熱が下ガツタ、飯が食エル、熱が復タ上ガツタ……。宇宙から見ればどうでもよい事なんだろうなあ……でも自分の事はちつとも後回しには出来ないなあ……。

（出版部会
藤野 順生）

京都教区 公式SNSあります

公式SNSで更新情報などを配信しています。
1,000力寺を超える寺院・教会がある京都教区ですが、登録者数はまだまだ少ないです！
ぜひご登録をお願いします！



LINE公式アカウント
2026年1月9日現在
登録者数276名
LINE ID @441foywe



Facebook、Instagramもちろんあります！



【表紙の写真】「暮れ行く賀茂川」（井上至／山城第2組法泉寺）

真宗大谷派 京都教区 教化広報誌 教区だより 第429号

【発行人】宮戸弘（真宗大谷派京都教務所長）【発行所】真宗大谷派京都教務所【発行日】2026（令和8）年2月1日
〒600-8164 京都市下京区花屋町通烏丸西入 Tel 075-351-5260 Fax 075-351-5256 Mail kyoto@higashihonganji.or.jp

